

## ■子ども虐待防止策イベント 2020 開催マニュアル

「子ども虐待防止策イベント in ○○」では、以下のことを実現します。

- ★親から虐待されたサバイバー当事者が、虐待された経験を告白
- ★子ども虐待が終わらない理由と虐待防止策を、今一生が徹底解説
- ★政治家・虐待サバイバー・一般市民と一緒に虐待防止策を議論
- ★参加者の中で希望する方々とカフェで交流会（※任意参加／各自精算）

### ① 実行委員会のブログを立ち上げる

必ず Blogger を利用してください。わからなくても、今一生が丁寧に教えます。

### ② 3人以上（※代表を含む）のチームを結成する

スタッフ会議は基本的に LINE グループ内で行い、今一生も参加します。

### ③ 実行委員会の専用口座を開設する

りそな銀行・ゆうちょ銀行・信用金庫から、りそな銀行をお勧めします。

### ④ 会場を予約する

公民館・大学の講義室など、無料か安く借りられる場所を探します。

- 4時間以上借りられる（朗読 30分＋講演 60分＋議論 90分＋準備・片付け）
- プロジェクター&スクリーンがある
- パソコン画面を投影できる（※プロジェクターと結ぶコネクターを確認）
- 50人前後の参加者が座れる
- マイクがあるなら、なるだけ借りる（ハンドマイク＋有線マイク）
- 幼稚園児以下の子が遊べるキッズスペースを一部に作れる
- 壁にテープで紙が貼れる（※毒親アートフェスの展示も検討を）
- 9～12月の土日・祝日の午後の時間帯（例：午後1～5時）

### ⑤ イベント専用 twitter アカと Facebook ページ新設

ブログに [Zenback](#) を導入すると、LINE やはてブ、mixi などにも拡散しやすいです。

### ⑥ 朗読者を調達する

イベントでオリジナルの「親への手紙」を朗読する人材を3人、公募します。

### ⑦ 活動資金調達する

イベント開催には、活動経費が15～20万円ほどかかります。

### 〈主な支出〉

- 会場使用料・チラシ印刷代・活動交通費・ミーティング飲食費など／3～5万円
- スタッフの持ち出し・公認朗読者への謝礼など／5万円
- 今一生の往復交通費・宿泊費・現地での飲食費・当日の資料代／約5～7万円
- 今一生への謝礼／5万円

(※謝礼には、スタッフへの毎日の相談対応、講演原稿の執筆、朗読者の「親への手紙」の編集、ネット上の広報、当日の講演、司会などの作業をすべて含みます)

### 〈主な収入〉

- ネット市民からの寄付(※1000円単位。ブログに団体口座を公開)
- ブログの広告バナー(※1社のみ5万円／ブログタイトル下のバナー)
- クラウドファンディング(※当日までに収入にすること／2019年の事例)
- 企業・自治体などからの助成金
- 当日受付での寄付(もしくは入場料)

### ⑧ 5人以上の政治家を招待する

2019年から「子ども虐待防止策イベント」では、地元の町議・市議・県議・国会議員に直接呼びかけて、参加を促してきました(※2019年に参加した政治家一覧は[ここ](#))。今年も1か所で**5人以上の政治家が参加**するよう、議員へ働きかけてほしいです。

### ⑨ メール予約を受け付ける

参加者からの予約は、当日の2か月前からすべてメールで受け付け、スタッフ全員に予約状況がわかるようにします。予約の際は、以下の要素を尋ねておきましょう。

★氏名・メールアドレス

★終了後のお茶会に参加する・参加しない(※各自精算)

★キッズスペースを使う・使わない

○あなたの求める子ども虐待防止策は？

### ⑩ 会計報告をする

ブログで収支報告の記事を書いてください。  
(例：[2019年の大阪のブログ](#))

★お問い合わせ

(詳細はQRコードを読み込んだリンク先へ)

[conisshow@gmail.com](mailto:conisshow@gmail.com) (今一生)

